

2015 年度研究大会プログラム

日 時：2015 年 5 月 16 日（土） 10 時～

場 所：同志社大学今出川キャンパス 良心館 103 教室
京都市上京区今出川通烏丸東入（最寄駅：京都市営地下鉄烏丸線今出川駅すぐ）

統一テーマ：国際裁判と紛争解決

午前の部

第一セッション 国際裁判の現状と課題（10 時～12 時）

座長 早稲田大学教授 古谷 修一

報告 1： 南極海捕鯨事件判決がもたらしたものその一年
——IWC 決議と日本の NEWREP-A 提案を中心に——

神戸大学教授 柴田 明徳

報告 2： 国際司法裁判所規程 63 条訴訟参加と条約解釈
——南極における捕鯨裁判を中心に——

立命館アジア太平洋大学准教授 高柴 優貴子

昼食・役員会（12 時～14 時）

午後の部

公募報告セッション（14 時～15 時 10 分）

座長 京都大学教授 浅田 正彦

報告 1： 国際司法裁判所判決の国内法秩序における効力

東北女子大学講師 小野 昇平

報告 2： 国際司法裁判所における原告適格拡大の論理構造
——管轄権基礎からみた民衆訴訟の可能性——

城西国際大学助教 石塚 智佐

第二セッション 国際裁判の新たな展望（15 時 30 分～17 時 30 分）

座長 明治大学教授 奥脇 直也

報告 1： 国際司法裁判所における救済方法と紛争解決
——本案判決における差止命令の意義と限界——

岡山大学教授 李 禎之

報告 2： 紛争解決方式の一つとしての国際裁判——戦争との対比において——

九州大学教授 柳原 正治

総 会（17 時 30 分～18 時）

懇親会（18 時 30 分～20 時 30 分）